

読書バリアフリー研究会 アンケート回答 (2014_06_28 愛知会場)
 ～みんなに読む楽しさを伝えよう～

参加者 43、アンケート回収 42

1. この講座をどちらでお知りになりましたか。(複数回答有)

| | | |
|------------|----|---|
| 新聞・雑誌 | 1 | 中日新聞 |
| ちらし・DM | 13 | |
| 友人・知人の紹介 | 12 | |
| ウェブサイト・ブログ | 9 | 当財団 HP、LD 協会、SENSEI NOTE、県図 |
| メールリスト | 0 | |
| その他 | 12 | 学校への案内 3、愛知県図書館より 3、図書館司書の紹介、当財団より、Twitter のリコメント |
| 合計 | 47 | |

2. 今回の講座の満足度をお聞かせ下さい。

| 満足 | やや満足 | やや不満 | 不満 |
|----|------|------|----|
| 29 | 13 | 0 | 0 |

その理由をお聞かせ下さい。

| 満足の理由 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・LLブック等、新しい発見がありました。障害、障がいの捉え方を今一度考えます。音訳について自己満足で終わらせないよう自戒しました。 ・野口先生からは、具体的にバリアフリー資料のお話をうかがうことができ、また、実際に資料もたくさん見せていただくことができました。河野先生からは、読み書き障害について、大変わかりやすく説明をいただき、また、障害に対する視点が参考になりました。成松先生からは具体的に3つのバリアについての対応をうかがうことができました。 ・読書バリアフリーに関する現況、先端的な知見をまとめて聞くことができ、有益でした。特に学習障害児の実例など今まで知らなかったことを勉強できました。 ・ややもすれば社会からおいていかれそうな子供達を、こんなにも各大学の先生達が実践して取り組んでいる事にびっくりするやら感動です。私も1人のボランティアとして、これから学習障害などに向き合っていきたいと思います。 ・一度に3本の講義を聞くことができたいへんお徳感がありました。このような内容が世の中に広く知られるとよいと思います。 ・特別支援学校で国語の教員、図書担当をしております。たくさんの本に出会い、授業のヒントをいただきました。本当に来てよかったです。 ・具体的で分かりやすい内容でよかった。河野先生のお話も具体的な検査データも含めディスレクシアの様がよく理解できた。 ・いろいろバリアフリーについての情報を得ることができ、有意義な時間をすごすことができました。バリアフリーの棚をぜひ作っていききたいと思います。 ・マルチメディア DAISY の活用方法を学ぶことができました。担当の方や専門の先生に分からないことを直接聞くことができ、よかったです。マンガや iPad などが図書館にあるので活用してみたいと思います。作成の苦労がよく分かりました。 ・読書に関して、読むことについて不自由さのある子ども達の視点からとらえたお話を聞くことができたことは、とても勉強になりました。また、今後取り組まなければならない「合理的配慮」についても大いに参考になりました。 |

- ・講師の方々、また伊藤忠記念財団の方々の熱意が伝わるお話ばかりで大変感動しました。寄贈先の図書館の対応がひどくて悲しい思いをされることが多いと思いますが、これからもがんばっていただきたいです！応援しております。
- ・講師の先生方の最新の情報と豊富なご経験を織り交ぜてのお話を伺い、大変勉強になりました。今回の学びを一人だけの知識にとどめず、同じ職場の人と共有し、"読む"ことについて環境向上を進めてゆけたらと思います。
- ・読み書き障害であったと思われる息子を小学校時代ホームスクールで育てました。以前から試行錯誤して、求めてきた色々な事に対して、講師の方々のお話から、「やってきた事は、子どもに対して無駄じゃなかったんだよ」とか「それでよかったんだよ」と肯定していただけたように感じられ、大変うれしく思いました。迷いがなくなり、さらに一步一步前に進める気がしました。今後は地域の子供たちへのサポーターとしてやっていきたいと考えています。
- ・新設中学校の図書室立ち上げにたずさわっています。生徒の約9割が発達障害またはその疑いのあるお子さんたちの「読書の場」だけではなく、クールダウンの場であり、逃げ場でもあります。どのような図書設営をしていくべきか？思案していたところでしたので、大変参考になりました。
- ・実際に手にとってみるものが多く用意されていて分かりやすかった。バリアフリー一本は価格が高いということもきちんととらえられていて話に現実味があって机上論ではなくよかった。特殊学校に勤めているので、子ども達の実際について確認する様にきいている話が多かったが、配慮の面であらためてきちんととり組まなければと思い直すことができた。
- ・今まで知らないことを知ることができた。
- ・新しい知識・見解を得ることができた。
- ・一人一人の先生がとても解りやすくお話しいただいて良かったです。
- ・たくさんの資料が見られて参考になった。特にマルチメディア DAISY の有用性の高さが理解できた。
- ・デジタルでの読書に対して、少し敷居が高いと思っている部分があった。取り組める可能性を感じることができた。
- ・実物を見せていただいたり、具体的な事例を見せていただいたりするなど、とてもわかりやすかったです。初めて知ることも多くあり、今まで誤解していたこともあり、まさに「目からウロコが落ちる」ことがいくつもありました。大変興味深い会でした。
- ・学習障害にこれほど多様性があるとは知りませんでした。音訳ボランティアをしていますが、すべて大人向けです。子供達に読んで欲しい本が沢山あるのに、それを提供する場が非常に少ない気がしておりましたので、大変うれしく思いました。
- ・私の住んでいる町にも特殊学校が出来て、2度程声をかけていただき学校にまいりました。学校側からは何の苦情も出ませんでした。いろいろ知って学んだ方がよいと思い参加させて頂きました。情報の広がり話題になっていますが、大学でこんなに色々研究されていることを知りませんでした。障害者の光になるよう世間に知らせて下さい。
- ・伊藤忠記念財団の活動に感謝です。三人の先生方の講座で知らない事をいっぱい知る事が出来ました。この研究会が名古屋で毎年開かれる事をお願い致します。もっともっと知りたいです。そして活用したいです。
- ・この領域は素人からみると、情報が未整理で混乱してしまうことが多いのですが、各講師の先生方が、非常にわかりやすく提示してくださったので、大分、頭の中が整理されました。また、読み書き障害の子にとって役に立つ、情報の入手方法も教えていただき、とても助かります。
- ・「ともに生きる社会」を目指して活動しています。LLブック等、知らなかった本の種類もあることを知ることができました。本日の講座の内容が今後に役に立つ思いがします。又、伊藤忠記念財団電子図書普及事業部がお二人とは驚きました。今後がんばって「わいわい文庫」が広がっていきますように。
- ・マルチメディア DAISY のことが、より理解でき、子どもたちや保護者の方々に、今まで以上にすすめていける自信を持つ事ができた。河野先生のお話、発達障害のことがよくわかりました。今日の前の子どもたちにどのように効果的に活用できるか、ということを考え、校内図書館担当をはじめ多くの人に伝えていきたいと思う。
- ・未記入 2

やや満足の原因

- ・河野先生のお話をはじめ、興味・関心のある話題でしたので、もっと詳しく聞きたい、知りたいと思いました。
- ・今まで障害とは心身のものだけだと思っていたが、読み書きの障害があり、その人々への支援の必要性があることがよく理解できました。しかし、私は公立の図書館に勤務しており、児童フロアを担当しているが、なかなか障害のある子どもたちへの支援はできていない。もう少し、公立図書館で出来る支援のことのお話を具体的に聞きたかった。
- ・バリアフリーの手法について具体的な事例が多く紹介され、理解を深めることができました。
- ・DAISYについては、5、6年前に日本障害者リハビリテーション協会のパソコンボランティア養成講座で学びました。作成については講習、研修が必要だと思います。現状についてよく分かりました。
- ・障害は人についているのではなく環境に障害がある、という考え方を聞き、この考え方は未来が開ける…と思いました。
- ・私が担当する中学校発達障害通級指導教室における子どもたちへの、合理的配慮の1つとしての学習環境の整備に役立てられる機会になりました。
- ・関わっている児童が読み書きが困難なので、それに関係のある部分は役に立つと思いました。
- ・マルチメディア DAISY についての知識が全くありませんでしたので、たいへん参考になりました。
- ・数年前からネットで知っていたマルチメディア DAISY がどういったものなのか、実際に目で見、さわってみて、たしかめることができました。特別支援学級（小学校）の担任をしており、小学校現場にいと、ディスレクシアの疑いのある子が必ずいますが、どうしたらいいのか迷うばかりです。
- ・単なる電子図書の紹介だけではなく、「障害」とは何かという考え方の基本からバリアフリーについても詳しく聞くことができた。読み書き障害の具体的な映像や有名な人の具体例もあって、理解しやすかった。
- ・マルチメディア DAISY について、まとまった話をきくことがなかなかないので、今回3人の先生方のお話がきけたことはよかったです。障害のある子どもたち、人たちのための読書についてもっと頑張らなくては、と励まされた気がします。
- ・マルチメディア DAISY 等がディスレクシア等の方に役立つということを聞き知ってはいたが、実際どのように役立つのかということが今一つ実感できていなかったもので、そうした障害の内容とどう使ってもらおうかということを知ることができたのが良かったです。現在、マルチメディア DAISY の受入と提供について検討中の為、参考にしたいです。
- ・未記入1

3. その他、お気づきの点がございましたら何でもお聞かせ下さい。

- ・一層の事業拡大をお祈り申し上げます。
- ・愛知県で開催していただきありがとうございました。
- ・ボランティアや図書館員が具体的にどんな形でバリアフリー化に協力していけるか、教えて頂けたらと思いました。
- ・もっと多くの障害者にたずさわっている一般の親御さん達を対象にした講座をやったらいいと思います。
- ・配布資料は、クリアファイルに綴じてなくてよいです。メモを書き込むとき、バラしたくなるので。
- ・60分1コマは大変聞きやすく、ありがたかったです。最後の「対面読書」の意見もなるほどーと思いました。大変有意義な学習会でした。他県から来た甲斐がありました。学校の教科部会で伝達してきます。
- ・道連れ作戦大賛成です。指導でなやんでいる仲間にもマルチメディア DAISY 図書の話等伝えたいと思います。読書スタイルの新しい提案も伺い、子供たちのために大いに活用させて頂きます。
- ・伊藤忠記念財団の活躍を祈っております。文庫活動の支援から、マルチメディア DAISY の作成、障害のある子どもたちのための読書支援事業、わいわい文庫、これからもがんばってください。

- ・読書バリアフリーの必要性を感じています。ブルーバージョンが欲しいです。ぜひ伝えます。マルチメディア DAISY の可能性についてもいろいろ知ることができました。
- ・児童向けの DAISY がなかなか手に入らないので、寄贈していただけて、大変助かりました。年齢的には、大人の方ですが、脳性まひの方の対面朗読に児童書を使用していますので、御社のマルチメディア DAISY もこれから使用したいと思います。
- ・研究会テーマ、タイトルに「特別支援教育」の文字を入れると参加率が上がると思います。本日の内容はとても勉強になるものでしたので、もっと多くの仲間聞いてほしいと思いました。
- ・海外の多言語社会にすむ子どもたち（母語の児童書が出版されていない国の子どもたち）への支援もしていただきたいです。私はアフリカの子どもたちの読書に関心があり、大学で研究しております。
- ・様々な資料の現物を提示いただき、また手に取る時間をご考慮いただいて、講義内容の理解がより深まったと思います。
- ・障害者支援のためのバリアフリー図書ですが、作成の段階で、発達障害当事者の方が受注をするシステムが一部の大学で試みられているという事実を知り、今現在全国規模でスタートしている子ども、若者支援に含まれる、就労支援のあり方に一条の光を見る思いがいたしました。
- ・生徒の約 9 割が発達障害またはその疑いのあるお子さんたちの学校ですので、図書マナー等の導入が難しいところです。図書マナー（本を大切に、読んだ本を元に戻す、静かに過ごす）、基本的な道徳教育などのご指導を希望致します。
- ・今、私が特支の教員として働いている中で感じるのは、弱き者、小さき者たちを支えてくれるところは少なく、また運営もきびしいということです。世の中の多くの方は、特に知的障害がある人への読書はムリと決めつけています。（特支の教員にも公共図書館にもそういう人はいます）
- ・特支学校（特に地方の）の毎年の図書予算はとても厳しいです。1年に10万円以下という学校も少なくありません。その金額の中で課題図書小・中分1冊ずつは買わなければならない、セットではなくよい本よい読み物（主に絵本）がなかなか買えません。本そのものを補助していただくことはできないでしょうか。
- ・「読み聞かせ」ということばは辞書にも出てきます。学習指導要領にも出てきます。「読み語り」は造語で使わないようにという方向です。
- ・実際の資料、本、iPad等に触れることができ、たいへん参考になりました。
- ・講師の方々のお話は大変勉強になりました。このような機会がなければ障害について学ぶことができなかったです。
- ・公共図書館の予算が制約される中でどのように取組を拡大していくかは課題であると思っています。
- ・河野氏の話、とても興味深く聞きましたが、「合理的な配慮」以降の印刷資料がないのが残念でした。
- ・学生さんが作った作品で、文字がハイライトになって読みあげている場面で、同時にピクトが出るとよりわかりやすくなると思いました。
- ・野口先生の講座で、様々なバリアフリー資料（各媒体）を図書館等、人々の触れる所に少しでも多くあることで、子供の時から点字本や拡大本などがあたり前のようにあれば、様々な方法で読書する人の存在があたり前の存在になる…。私事ですが昨年孫が生まれ、その孫にプレゼントするノントンの絵本を点字のついているものにしたいなと思いました。
- ・未記入 21